

発行所：石川自治センター

発行者：石川自治センター長 矢内陽介

〒963-7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX 同)

石川自治センター だより



地域自治協議会部会活動について意見交換



10月20日石川自治協議会設立に係わる話し合いが石川町役場行われた。区長7名・教育部会4名・役場3名・自治センター2名が出席した。教育部会として「教育全般について」区長班と教育班に別れ、ワークショップ形式で、教育関係の課題を上げ、課題に対しての解決について話し合いが行われた。ワークショップ形式4回目の話し合いとなった。

地域の課題、意見交換については、以下の通りです。人口減少が進み、地域で子供の遊ぶ姿や声が聞こえない。子供たちが遊べる公園をクリスタルパークの一角に作ってほしい。子供育成会が無くなった。少子化に伴い祭りが出来無くなってきた。若いファミリーが町に移住できる有効な政策を望む。子育てしやすい環境作りをしてほしい。若い人達が集まる施設が必要ではないか。石川町に若い人が住みたいと思っていない。生涯学習活動では、男性の参加者が少ない。運動機会が少ない。運動等の指導員がほしい。地域の伝統行事や文化継承等が難しくなってきた。小中学校等の協力で事業を行う。その他では、高齢化や若い人の行政区参加が無く、区の事業に支障をきたす時代になってきた。コロナ禍の影響からか、地域の交流が無くなり、話し合う機会がない。女性委員からの意見や教育全般について地域の状況を踏まえ意見交換等を行った。6月福祉部会、7月安心安全部会「交通・防犯・防災関係」、9月まちづくり部会、10月教育部会と4回のワークショップ形式の意見交換が行われ、今すぐ出来る地域の課題等において即行動する。行政区のみで出来ないことは、役場等と連携し問題解決をする。出席者全員が問題提起をし

2022 みんなのまちなか朝市11月19日迄



て前向きに話し合いが行われた。11月は、視察研修も予定しています。多くの方の御参加をお願い致します。

まちなか朝市(山田達也)は、10月に入って秋野菜や冬野菜の品揃えに変わってきた。果実も柿やリンゴ、フランス等が品揃えされている。22日には、小針さんが3ヶ月振りに出店され多くのお客様で賑わいを見せた。キュウリとアイコ(ミニトマト)の植え付作業で休んでいた。今年度は、11月八槻市が開催される模様、まちなか朝市は、11月19日で終了となります。最後までお付き合いの程、宜しくお願い致します。

ハルティックウォーキング10月月例会



健康増進事業ノルディックウォーキングin石川月例会は、15日石川自治センターあさひ公園(北須川沿い)を石川バイパス境ノ内地内大橋往復の約4キロコースで行った。皆川講師と鈴木(役場)さん指導の下、4自治センターから21名が参加、平坦なコース設定と秋晴れに恵まれ爽やかな汗をかけた。皆川講師からは、歩行時の動作、腕振りと歩幅を大きくする指導を受け、河川敷で繰り返し歩行練習を行った。尚、石川地区からは、荒川さん・三瓶さん・小針さんが参加した。11月は、沢田自治センターで開催予定。

まちなか工房。秋の工人まつり「籐手芸教室」出店



三島町生活工芸館で工人まつりが3年振りに、秋の工人まつりとして10月15日～16日の2日間開催された。本来は、6月に開催されていたが新型コロナウイルス感染症拡大防止の為開催中止となっていた。全国各地から、編み組、細工、木工製品他のもので、づくり工房や工人100店が一堂に介し展示、販売を行った。石川自治センター「まちなか工房・つくっぱ」籐手芸教室（講師・矢内文字先生）が出店した。矢内先生始め、教室で学んでいる生徒さんの作品を含め約350点（山



リフォーム・粘土・籐手芸・造形雑貨教室の皆さん

葡萄バック・財布・アクセサリ・小物やクルミ皮バック・あけび細工）が出品され、お買い求めるお客様で終日賑わっていた。今回も生徒さん自身が製作過程や教室活動の説明、石川町のPRをするなど、接客販売を積極的に行っていた。今回の出店では、教室活動1年目で山葡萄バックが売れた生徒さんもいて、学級生の製作活動意欲を掻き立てると思われる。目標でもある工人まつりに継続して参加出来たことは、役場関係者、今年度山葡萄採取参加の三森孝浩さん（中田区）外採取ボランティアのご理解とご協力の御蔭と感謝申し上げます。有難うございました。

生涯学習教室、寿大学・レディース学級



のづくり

石川寿大学（鈴木芳幸委員長）は、18日9月学習会を自治センターで学級生32名（男性5名・女性27名）が参加して行われた。4回目ものづくり学習会は、講師に三本木美智子先生と粘土教室4名（深谷・板橋・緑川・宗像さん）の生徒さんを招き、2023年の干支「卯・うさぎ」を制作した。作業は、パーツごとに練り込み、形を作る作業は苦勞しながらも一つ一つ丁寧に製作した。男性陣も先生方の手助けを頂きながら、楽しく作業をしていた。4回目のも

16日まちなか工房各教室の皆さん13名が工人まつりへ、各人のスキルアップの為に移動研修を行いました。写真上



最終目的地常楽院

のづくりとあつて、三本木先生からも「良く出来ましたね」とお褒めの言葉を頂きました。有難うございました

新田寿健康大学（小豆畑幸司委員長）は、20日若返り不動尊巡り（会津五色不動尊巡り）を平成30年から2年かけて達成する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の為延期となっていたが、20日やっと願い叶った。4番目黒（く）滋愛不動滋恩寺5番目青（しょう）青春不動常楽院で法話を聞き5不動尊巡りが完結した。平成30年は23名で出発したが、今年度27名の学級生が参加したことは喜ばしい限りだ。93歳になる大柿さんは、学級生の為に大内宿のしおり他を作成し配布、皆さんに

11月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
3	木	レディース学級文化祭作品展示 6日迄	モトガッコ
15	火	石川寿大学移動研修	大子町方面
17	木	新田寿健康大学学習会 9:30～ 地域自治協議会 18:30～	新田ふれあい 未定
19	土	ノルディックウォーキング月例会 10:00～	沢田自治センター
まちなか朝市 11月5日12日19日最終回 朝7時～			石川自治センター

レディース3学級（きたす・猫啼・新田）は、文化祭作品作りを行った。11月3日～6日迄モトガッコで外楨を含め4学級の作品が展示される。

喜ばれていた。有難うございました。